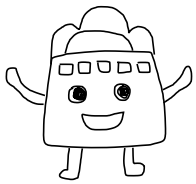
湯田ダムだより

2025 Dec vol.130

発行：北上川ダム統合管理事務所
湯田ダム管理支所
岩手県和賀郡西和賀町杉名畑44地割162-15



11月30日大石トンネル開通式



青森県東方沖地震

令和7年12月8日 午後11時15分頃、青森県東方沖を震源として発生したマグニチュード7.5の地震がありました。

湯田ダムでの震度は２でしたが、職員が参集し点検を行い異常がないことを確認しました。



気象庁は「後発地震注意情報」を３年前の運用以来初めて発表しました。

巨大地震の可能性が相対的に高まっていることをお知らせするもので、７日間注意を呼びかけるものです。

呼びかけ期間終了後も地震への備えを続けましょう。



熊 2025

今年の漢字にも選ばれた「熊」ですが、今年はクマの出没が相次いだ年でした。

元岩手県環境アドバイザーの遠藤政一さんにお話しを伺いました。

一昨年あたりからクマの世代交代が進み、新時代のクマが現れたと遠藤さんは言います。

雄が餌不足のため縄張りを拡大し、山から雌を追い出すのだそうです。

山を追い出された雌は里で出産をするため、里で産まれた子が多く見られるようになったとのこと。



ダムに現れたクマ
十二月二十二日に

クマはスズメバチなどの巣を食べるので、来年はハチによる被害も心配されるそうです。

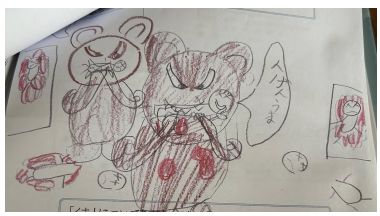


イノシシやシカも増えている

国定公園管理員や
環境省環境管理委員
を務めた遠藤政一氏

西和賀町地域おこし協力隊として雪国文化研究所に勤務する佐々木真理子さんにお話しを伺いました。

テレビやSNSの過度に恐怖をあおる情報を鵜呑みにせず、正しく知ることが大切と佐々木さんは語ります。



クマのイメージ
小学生が描いた

クマの冬眠はウトウトしている状態のため、時々穴から出て周囲を徘徊することもあるそうです。

クマに出遭ってしまったら、クマに逃げる時間を与えることが大切で、付近にいるかもしれないと常に意識して行動することが必要との事。

ゴミを捨てない、ペンキやガソリンの保管にも注意し身の安全を守りましょう。



佐々木真理子さん
地域おこし協力隊

人間の生活圏とクマの生息域の境界線を明確にすることが必要